

KOIZUMI コイズミ照明器具用部品 取扱説明書

型 番 AE38593E

お客様へ コイズミ照明器具用部品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。

保存用

【安全上のご注意】

! 注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
禁止	指定以外の電池、種類の異なる電池や古い電池を混ぜて使用しないでください。極性表示の通りに電池の“+”“-”を正しく入れてください。また、充電式(Ni-Cdなど)電池は使用できません。→電池が発熱して、破裂・液もれの原因になります。	

■定格

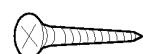
型 番	適合電池
AE38593E	単4形アルカリ電池(LR03) 2本

■リモコン送信機について

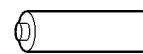
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は使用しないでください。



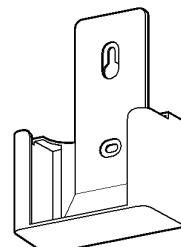
〈付属品〉



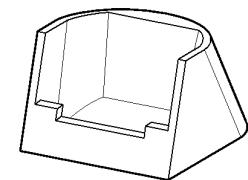
取付用木ネジ ····· 2本



単4形アルカリ電池 (LR03) ····· 2本



ホルダー ····· 1個



卓上スタンド ··· 1個

※この器具は防犯を補助するもので家宅への侵入や盗難を確実に阻止することはできません。

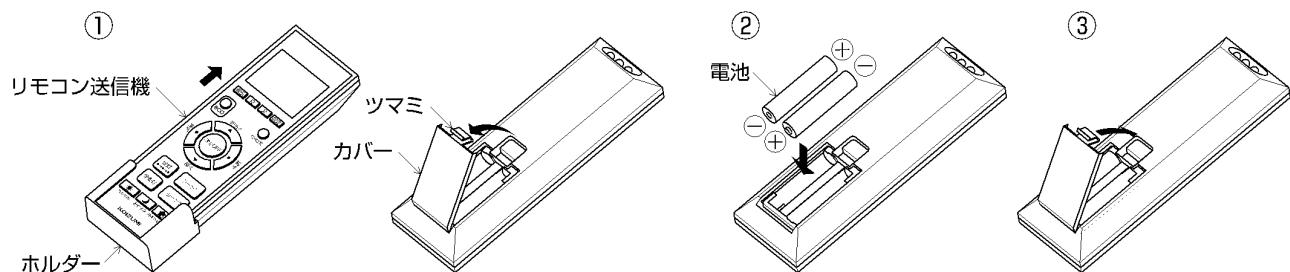
■目次

■ご使用の前に ······················· P.2	■おやすみタイマーについて ····················· P.7
■現在時刻の合わせ方について ····················· P.3	■おめざめタイマーについて ····················· P.8
■チャンネル設定について ····················· P.3	■シーンの設定について ····················· P.9
■点灯状態の切り替えについて ····················· P.4	■リモコン送信機のご使用について ··················· P.9
■タイマー機能の説明 ····················· P.5	■リモコン送信機の使用上のご注意 ··················· P.10
■おまかせ防犯について ····················· P.6	■修理を依頼される前に ····················· P.11

■ご使用の前に

1 リモコン送信機に電池を入れる

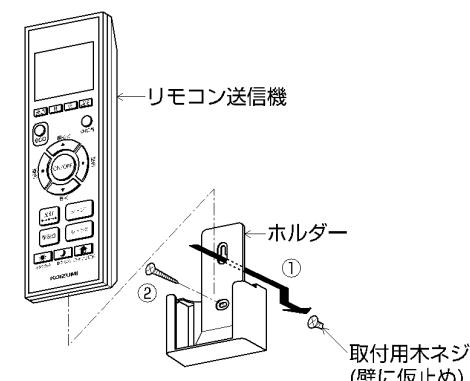
- ①リモコン送信機をホルダーから取り出し、裏側のカバーのツマミを手前に引き起し、カバーを外す。
- ②単4形アルカリ電池2本を極性を表示に合わせて入れる。
- ③カバーを取付ける。



2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

- ①必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ②2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

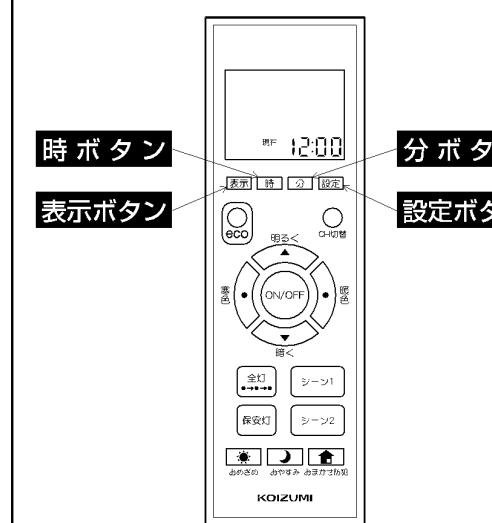
※その際、強く締め込まないようにしてください。
ホルダーが破損するおそれがあります。



■現在時刻の合わせ方について

電池を入れた直後は、「現在12:00」の点滅表示となります。

●現在時刻設定モード



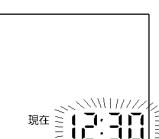
表示ボタンを押して現在時刻を表示する。



時・分のボタンで希望の時刻に合わせる。
(例として、15時30分に合わせる。)

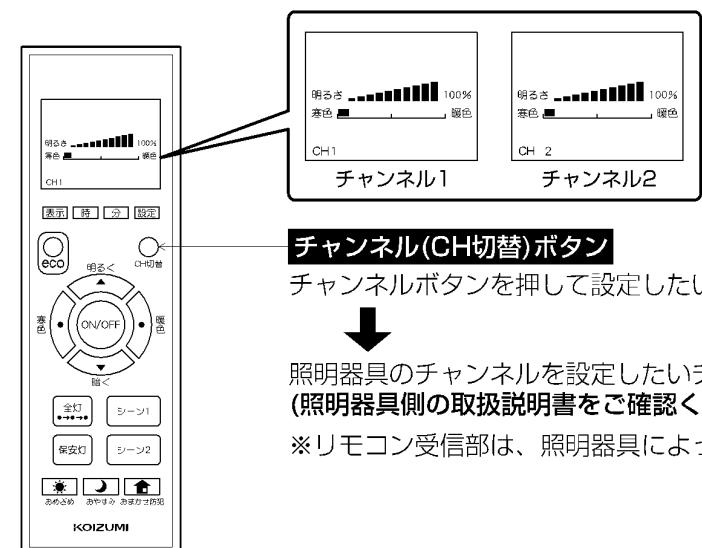
時ボタン…1回押すごとまたは長押しで、時刻表示が1時間ずつ進む。
分ボタン…1回押すごとまたは長押しで、時刻表示が1分ずつ進む。

(時・分ボタンを押して時刻を合わせている間は点滅表示になる。)

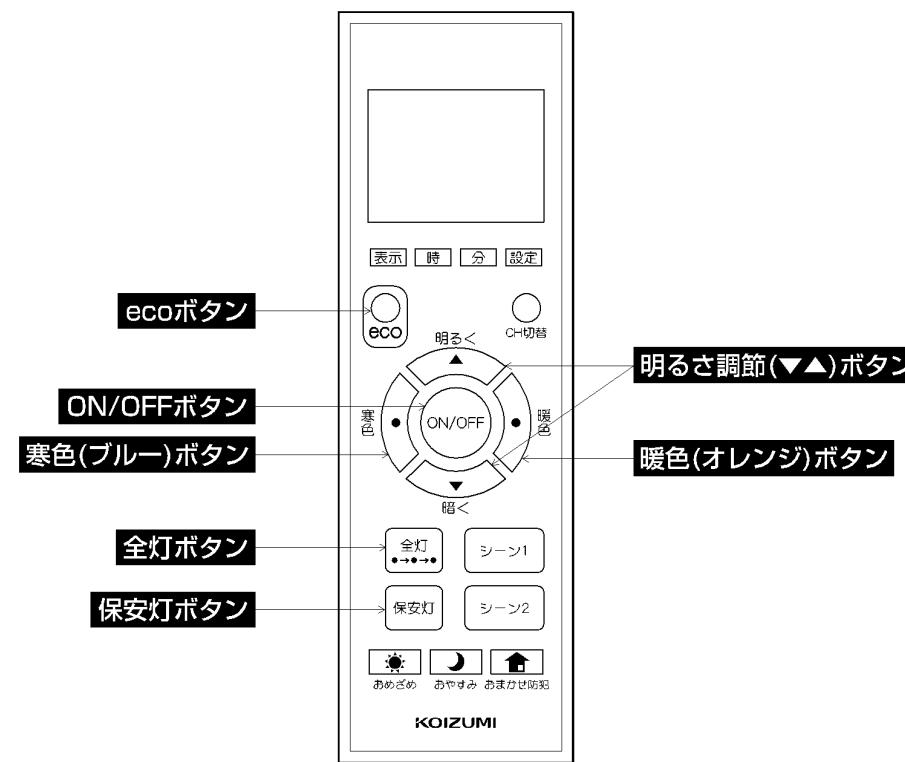


■チャンネル設定について

2台の照明器具を個々に操作する場合は、照明器具側のチャンネルとリモコン送信機のチャンネルを合わせてください。



■点灯状態の切り替えについて



- ON/OFFボタン** 照明器具の点灯・消灯の切り替えができます。
※ONにするとOFFにする前の状態で点灯します。 [点灯] ↔ [消灯]
- 明るさ調節(▼▲)ボタン** 主光源を100%～1%の間でお好みの明るさに調節できます。(周囲温度約25°C時)
※▲あるいは▼ボタンを押した際に、液晶パネルの表示が変動します。
※保安灯点灯時もしくは消灯時に押すと、主光源点灯に切り替わります。
- 寒色(ブルー)ボタン** 主光源の光色を寒色側に調節できます。
※寒色(ブルー)ボタンを押した際に、液晶パネルの表示が変動します。
※保安灯点灯時もしくは消灯時に押すと、主光源点灯に切り替わります。
- 暖色(オレンジ)ボタン** 主光源の光色を暖色側に調節できます。
※暖色(オレンジ)ボタンを押した際に、液晶パネルの表示が変動します。
※保安灯点灯時もしくは消灯時に押すと、主光源点灯に切り替わります。
- 全灯ボタン** 主光源が全灯状態で点灯し、光源色が順送りされます。
※保安灯は点灯しません。
※調光状態や保安灯点灯時でも主光源が全灯点灯します。
- 保安灯ボタン** 保安灯の点灯と明るさが調節できます。(5段階調光)
※保安灯ボタンを押すごとに明るさを調節することができます。
※保安灯の明るさはメモリされます。
※液晶パネルには表示されません。
- ecoボタン** 5分かけて主光源の現点灯状態の80%の明るさになります。
※ecoボタンを押した際に、液晶パネルに **eco** の表示がされます。
※動作終了後、液晶パネルの **eco** の表示は消えます。
※主光源の調光状態が暗い場合は、明るさが変わらないことがあります。
- ※リモコン送信機を操作すると照明器具より確認音がします。

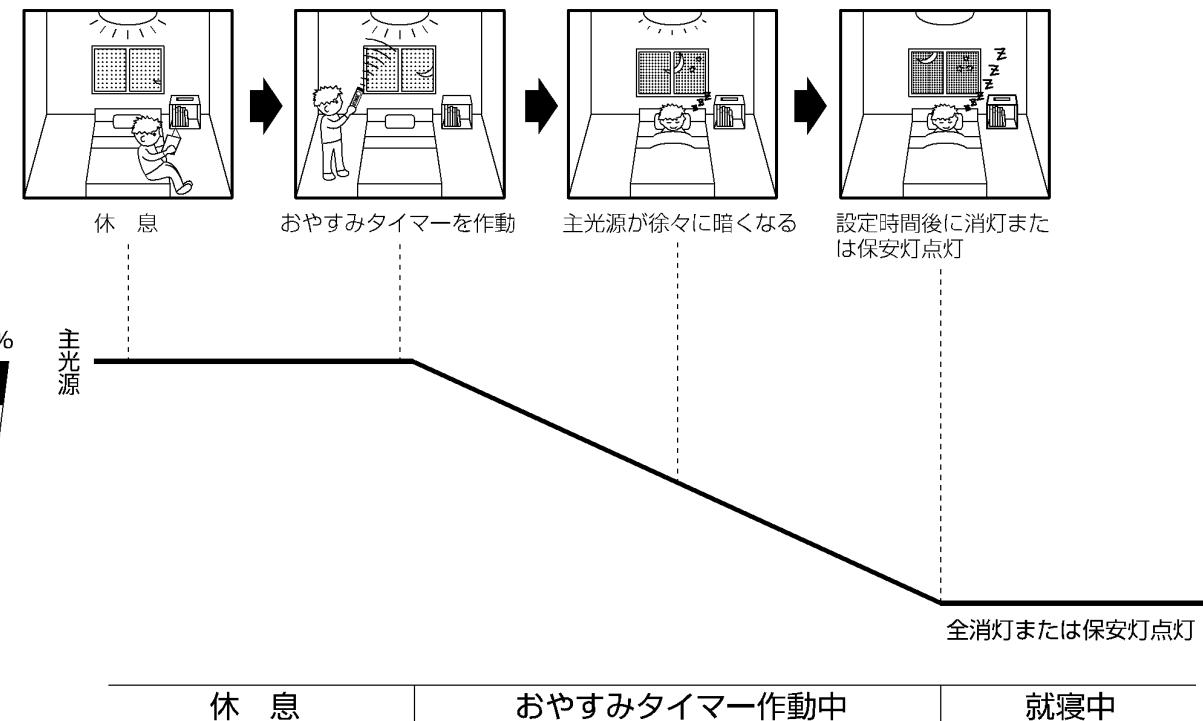
■タイマー機能の説明

●おやすみタイマー

夕日が沈むように10分、30分、60分のお好みの時間をかけて主光源が徐々に暗くなり、入眠をサポートします。

※主光源の光色も暖色側へ移行していきます。

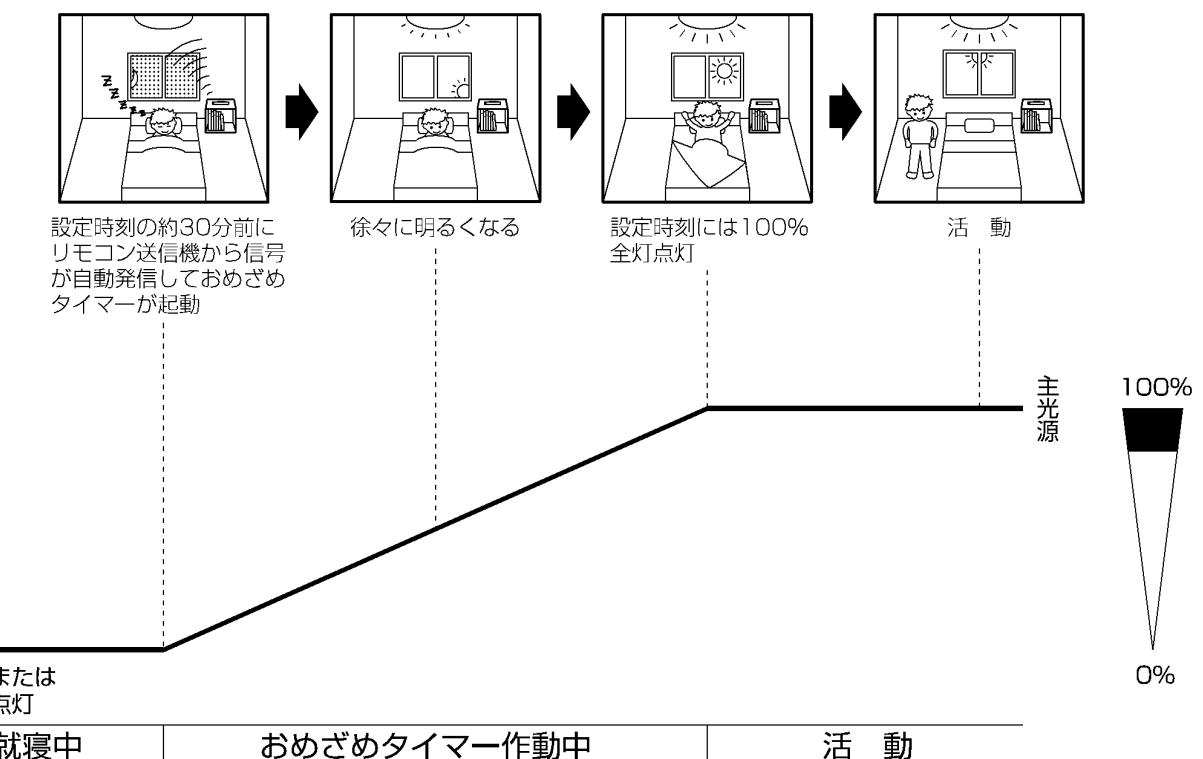
※タイマー終了時(就寝中)は全消灯または保安灯点灯のいずれかをお選びいただけます。



●おめざめタイマー

太陽の光で自然に体が目覚めるのと同じように、設定時刻の30分前から徐々に明るくなり、設定時刻には主光源が100%点灯することで、覚醒をサポートします。

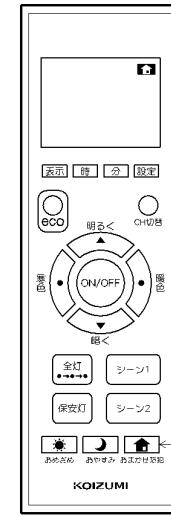
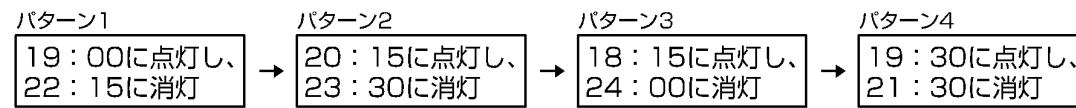
※主光源の光色も暖色から寒色側へ移行していきます。



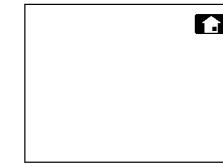
■おまかせ防犯について

毎日異なる時刻(4つのパターン)にリモコン送信機が作動し、照明器具が自動点灯(全灯状態)して自動消灯します。

※現在時刻が設定されていない場合は、おまかせ防犯を作動させることができません。



おまかせ防犯ボタンを1回押す。
液晶パネルに と表示される。



おまかせ防犯ボタン

※解除する場合は、おまかせ防犯ボタンを1回押して液晶パネルの 表示を消してください。

※18:00以降におまかせ防犯ボタンを押しておまかせ防犯を開始させた場合は、翌日からの作動になります。

※おまかせ防犯作動中は、必ずパターン1から開始されます。パターンの順序や時刻を変更することはできません。

※おまかせ防犯作動中でも表示ボタンを押すと液晶パネルに時刻が表示されます。

※おまかせ防犯作動中は、現在時刻の変更はできません。

※おまかせ防犯設定後、壁スイッチはONにしたままご使用ください。

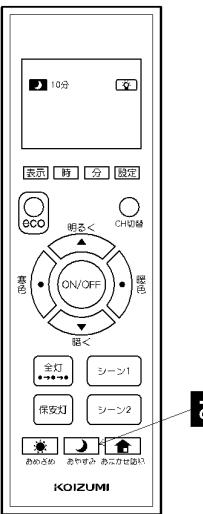
※点灯や消灯時に照明器具から信号音が1回～複数回鳴ります。

※おまかせ防犯作動中は、付属の卓上スタンドを使用して照明器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に置いてください。

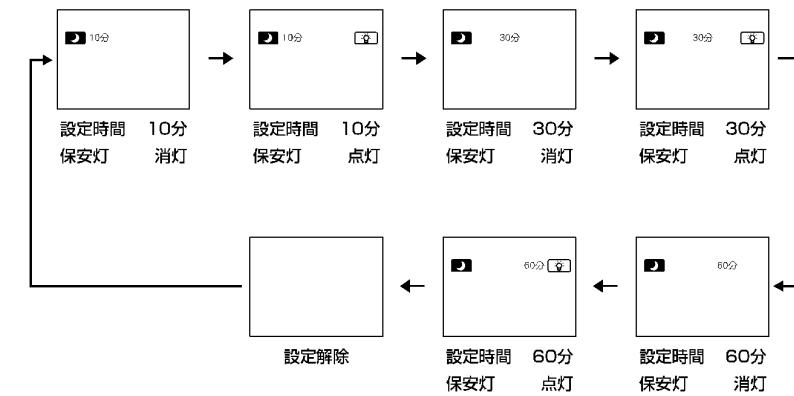
■おやすみタイマーについて

主光源または保安灯が設定時間内に徐々に暗くなり、消灯または保安灯点灯になります。

※現在時刻が設定されていない場合は、おやすみタイマーを作動させることができません。



おやすみボタンを押すごとに設定時間と設定時間後の保安灯の点灯状態を切り替えることができます。

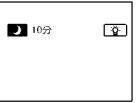


※おやすみボタンを押すごとに照明器具から確認音が「ピ」と鳴り、
設定解除の時の確認音が「ピピー」と鳴ります。

おやすみタイマーを作動する場合

おやすみボタンを押して設定時間と設定時間後の保安灯の点灯状態を選択する。

(例として設定時間10分、保安灯点灯を選択します。)
作動ランプが点滅し、選択してから約5秒後に照明器具から確認音が「ピピピ」と鳴り、おやすみタイマーが作動する。



主光源が徐々に暗くなり、設定時間(10分)後に保安灯点灯になる。

※解除する場合は、表示パネルの 表示が消えるまでおやすみボタンを複数回押してください。

※保安灯のみが調光状態で点灯している時におやすみタイマーを設定した場合は、その調光状態を設定時間維持し、その後消灯または保安灯点灯になります。

※おやすみタイマー作動中でも表示ボタンを押すと液晶パネルに時刻が表示されます。

※おやすみタイマー作動中でも現在時刻、おめざめタイマーの時刻設定ができます。

※おやすみタイマー作動中でもおめざめタイマーを作動させることができます。

ただし、おめざめタイマーの設定時刻はおやすみタイマー作動終了後以降に設定しないと正しく作動しません。
おやすみタイマーとおめざめタイマーの作動中の時刻が重複する場合は、おやすみタイマーが優先されます。

※おやすみタイマー作動中にリモコン送信機のボタン操作で点灯状態を切り替えるとおやすみタイマーは解除されます。

※おやすみタイマー設定後、壁スイッチはONにしたままご使用ください。

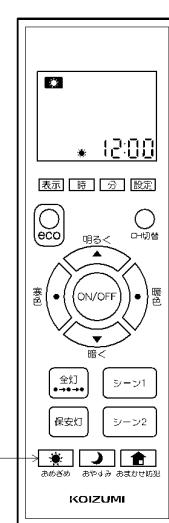
※おやすみボタンでの解除以外では、おやすみボタンを押すと前回の設定内容から設定が始まります。

■おめざめタイマーについて

設定時刻の30分前から徐々に明るくなり、設定時刻には主光源が全点灯します。

※初期設定は12:00です。

※現在時刻が設定されていない場合は、おめざめタイマーを設定することができません。



①おめざめタイマー時刻の設定
表示ボタンを押して右のようにおめざめタイマーの設定時刻を表示する。



時・分のボタンで希望の時刻に合わせる。
(例として、06時45分に合わせる。)
時ボタン…1回押すごとまたは長押しで、時刻表示が1時間ずつ進む。
分ボタン…1回押すごとまたは長押しで、時刻表示が1分ずつ進む。
(時・分ボタンを押して時刻を合わせている間は点滅表示になる。)



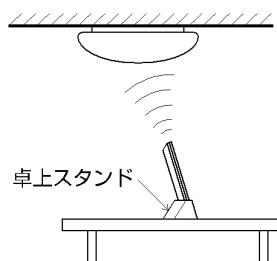
おめざめボタン

設定ボタンを押すと点滅が止まり、おめざめタイマーの設定時刻が決定される。



②おめざめタイマーの使い方

タイマー時刻を設定する。(①参照)
おめざめボタンを1回押す。
液晶パネルに と設定時刻が表示され、作動ランプが点灯する。約20秒後には設定時刻の表示が消える。
もう一回押すと 表示が消えて解除される。



設定時刻の30分前にリモコン送信機から赤外線信号を発信し、保安灯が徐々に明るくなる。この時に確認音はしない。

※おめざめタイマー動作後に、リモコン送信機のON/OFFボタンを押すと消灯となり、おめざめタイマーは解除され、照明器具から確認音が「ピピー」と鳴ります。



※リモコン送信機は、付属の卓上スタンドを使用して照明器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に置いて使用してください。

※設定途中に120秒以上ボタンを操作しない場合、液晶パネルの表示が消えて、設定時刻は設定前に戻ります。

※おめざめタイマー作動中でも表示ボタンを押すと液晶パネルに時刻が表示されます。

※おめざめタイマー作動中でもおめざめタイマーの時刻設定ができます。

※おめざめタイマー作動中でもおやすみタイマーを作動させることができます。

※おめざめタイマー作動中に照明器具を点灯させても設定時刻の約30分前には一度消灯します。

※おめざめタイマー設定後、壁スイッチはONにしたままご使用ください。

※おめざめタイマーの設定や解除時は、確認音はしません。

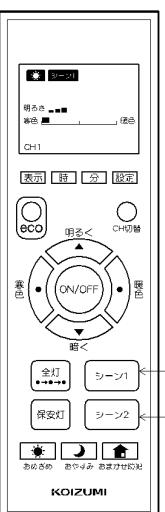
(ただし、おめざめタイマー作動時に解除すると確認音が「ピピー」と鳴ります。)

■シーンの設定について

お好みの明るさ・光色を2パターンメモリすることができます。

※出荷時の設定は、リモコンの液晶表示と照明器具の点灯状態が異なる場合があります。

シーン設定を行なうと、リモコンの液晶表示と照明器具の点灯状態が合います。



①シーンの設定

■点灯状態の切り替えについてを参照し、明るさ・光色を決定する。



シーン1ボタンまたはシーン2ボタンを長押しすると、照明器具から確認音が「ピーピー」と鳴り、シーンがメモリされる。

②シーンの使い方

シーン1ボタンまたはシーン2ボタンを押すと、メモリされた状態で点灯する。

※「シーン1」、「シーン2」に同じシーンの設定はできません。

※消灯または保安灯の点灯中は、シーンの設定ができません。

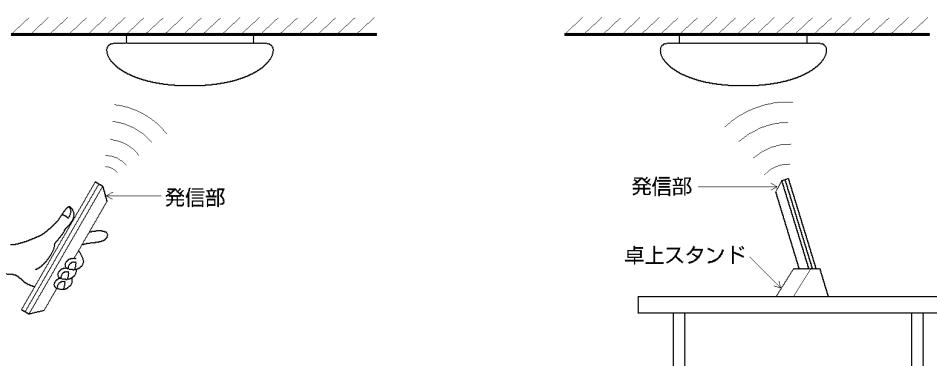
※リモコン送信機を操作すると確認音が照明器具よりします。

※シーン設定後、照明器具のチャンネルを切り替えると照明器具のシーン設定がリセットされます。再度、シーンの設定を行なってください。

■リモコン送信機のご使用について

リモコン送信機を操作する場合は、照明器具が操作できる位置で発信部(裏面)を照明器具に向けて行なってください。

※照明器具を操作する赤外線信号は、リモコン送信機の発信部(裏面)から出ます。

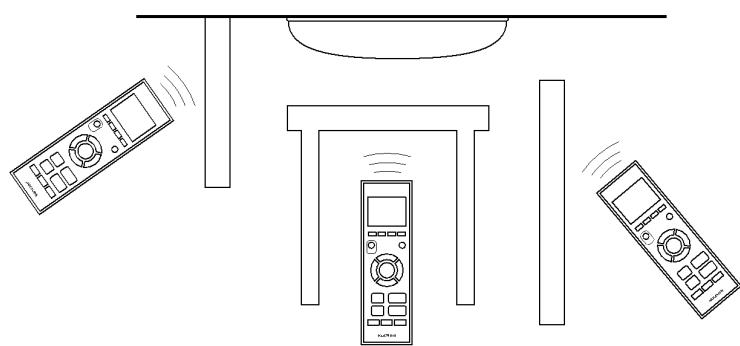


※タイマー作動中、リモコン送信機は付属の卓上スタンドを使用して照明器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に置いて使用してください。

※ホルダーに入れたままですと動作しにくい場合があります。

■リモコン送信機の使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、照明器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池(アルカリ電池を使用)の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。
※充電式電池は使用できません。
※マンガン電池の場合は、アルカリ電池に比べて寿命が短くなります。
- 照明器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。ただし、壁スイッチで電源を切った場合は、各種タイマーは機能しません。各種タイマーをご使用の際は、リモコン送信機で消灯してください。
リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり、電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても照明器具は動作しません。
壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。
過熱・故障の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れると作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。
しゃへい物をさけてリモコン送信機を操作してください。
- 照明器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコン送信機が作動しにくい場合があります。



修理を依頼される前に

処置した後にお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

- 動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現象	考えられる原因	処置
液晶パネルの表示は出ているが照明器具を操作できない	壁スイッチがOFFになっている リモコン送信機の電池が残り少なくなっている チャンネルが合っていない	壁スイッチをONにする 全灯ボタンまたは調光ボタンで点灯状態の切り替えができない場合、電池を交換する 照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(■チャンネル設定についてをご確認ください)
液晶パネルの表示と照明器具の点灯状態がズレている	リモコン受信部に信号が届いていない状態でリモコンを操作した 壁スイッチでブルレス操作を行ない、点灯状態を切り替えた 消灯または保安灯の状態でシーン設定を行なった	全灯ボタンを押し、液晶パネルの表示と照明器具の点灯状態を合わせてから各リモコン操作を行なう
時刻が表示されない	一定時間後に表示が消える	表示ボタンを押し、液晶パネルに表示する
液晶パネルの表示が出ない	リモコン送信機電池の極性 \oplus/\ominus が間違っている リモコン送信機の電池が切れている	電池を正しく入れる 電池を交換する
おまかせ防犯が作動しない	現在時刻が設定されていない	表示ボタンで現在時刻を設定し、液晶パネルに H を表示する
おやすみタイマーが作動しない	おやすみが設定されていない	おやすみを設定する(■おやすみタイマーについてをご確認ください)
おめざめタイマーが作動しない	おめざめが設定されていない	おめざめを設定する(■おめざめタイマーについてをご確認ください)
おまかせ防犯、おやすみタイマーやおめざめタイマーが作動しない	チャンネルが合っていない リモコン受信部に信号が届いていない	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(■チャンネル設定についてをご確認ください) リモコン送信機を照明器具が操作できる位置で使用する(■リモコン送信機のご使用についてをご確認ください)
勝手に点灯や消灯する	おまかせ防犯、おやすみタイマーやおめざめタイマーが作動中になっている	おまかせ防犯、おやすみタイマーやおめざめタイマーを解除する(■おやすみタイマーについてや■おめざめタイマーについてをご確認ください)
勝手に点灯状態が切り替わる	デモ用の動作モードになっている	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CH2」に設定し、ON/OFFボタンを押しながら3秒以内に保安灯ボタンを3回押し、デモモードを解除する
リモコン送信機で照明器具を操作した時に確認音がしない	確認音の消音モードになっている	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CH2」に設定し、ON/OFFボタンを押しながら3秒以内にシーン1ボタンを3回押し、消音モードを解除する